介護なんでも相談室

松永安優美 まつながあゆみ

栃木県出身、内科医。埼玉医科大学卒。同大付属病院を経て実家の松永医院に勤務。平成3年から特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、養護老人ホームなどを設立。現在、医療法人「聖生会」理事長、社会福祉法人「裕母和会」会長として、医院と8つの介護施設を運営している。

Q 郷里の静岡県・三島市で88歳になる母が一人暮らしです。二男の私と兄は、東京で家庭を持っていて、実家にはたまに顔を出す程度です。兄弟2人の仕送りとわずかな年金で暮らす母は最近、難聴と膝痛が進み、そろそろ兄が自宅に引き取ろうと考えていますが、母は郷里を離れる気がありません。郷里で介護施設を探しておくべきか、それとも強引に引き取るべきか、いざという時のためにアドバイスをお願いします。私は58歳、会社員です。

A 同じ悩みは、よく耳にしますが、最優先すべきは、お母さんの気持ちです。人間、お年をめすと、何十年も暮らした場所を離れたくないものです。親戚やお茶飲み友だち、そして親しんだ自然と四季。それが穏やかに暮らせる命の源でもあります。

お兄さんが無理してお母さんを引き取った場合、むしろ、ふさぎ込んだり老化が進行することが心配です。息子さん一家に囲まれての生活は、楽しさもありますが、肩身の不自由さ、新しい住まいや環境への不適合など、マイナスが多いものです。お嫁さんの負担も増します。そこをじっくり考えてみて下さい。

では、お母さんが一人暮らしが無理になった場合どうするか。その時に備えて、今から郷里で介護施設を探しておくことをお薦めします。特別養護老人ホームが費用は一番少なくて済みます。都市部では「空きがない」といわれますが、地方でしたら、まだまだ余裕があります。ただ、昨年から要介護3以上の人が対象になったことは知っておいて下さい。特養に申し込んでも無理そうでしたら、サービス付き高齢者向け住宅や老人保健施設があります。お母さんが一人暮らしで、収入が国民年金だけであれば、軽減制度のある施設もあり、都市部でなければ入りやすいはずです。

今回のケースとは別ですが、郷里で一人暮らしのお母さんが行動的で社交的という方もいます。買い物や観劇が好きだったり、小旅行が趣味だったりとか。そういうお母さんでしたら、息子さん一家との同居に反対しません。ただ、同居した場合、お母さんが扶養家族になり、収入により介護費用の自己負担額が高くなることは覚えておいて下さい。

（隔週連載）